

平成24年度前期授業評価アンケート結果報告

1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布し、電子データで回収。

3. 回答率等

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1) 前期開講科目数 | 13科目 (ただし極域科学特別研究、極域科学特別演習は除く) |
| 2) 履修者数 | 4名 |
| 3) 期待回答数 | 25件 |
| 4) 回答数 | 25件 |
| 5) 回答率 | 100% (回答数(25) / 期待回答数(25)) × 100 |

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

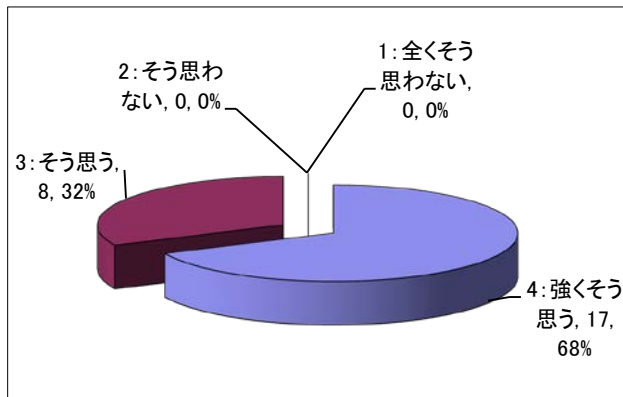
4 : 強く思う 3 : そう思う 2 : そう思わない 1 : 全くそう思わない

なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成し、専攻長が確認した。

問1. 授業内容はシラバスと対応していましたか。

4 : 17件 3 : 8件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.68】

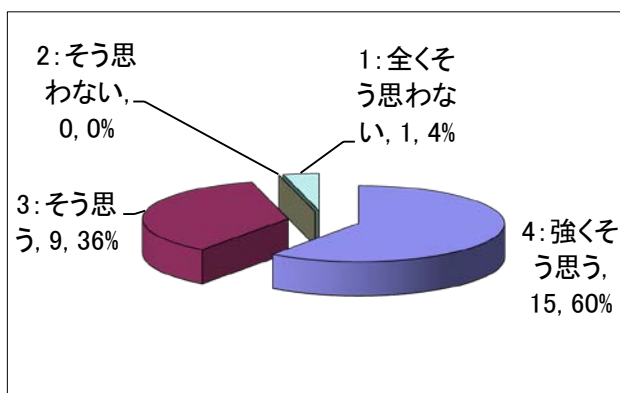


(コメント)

4と3をあわせて25件、100%であった。授業内容はシラバスとほとんど対応しており、シラバスの内容も周知できていると考えられる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 15件 3 : 9件 2 : 0件 1 : 1件 【平均3.22】

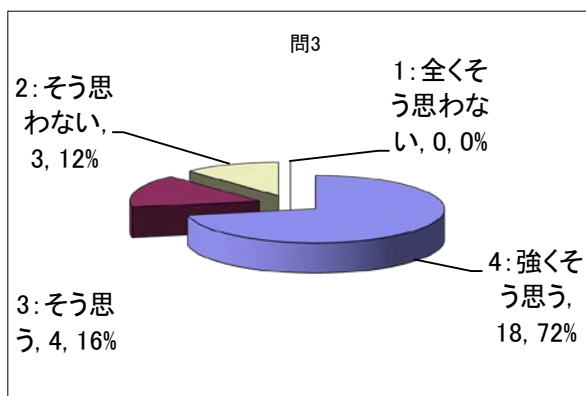


(コメント)

4と3をあわせて24件(96%)であった。ほとんどの授業で難易度が適切だったと考えられる。ただし、1の回答も1件(4%)あったため、履修決定前にあらかじめ難易度について案内する必要があると思われる。

問3. 授業により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

4 : 18件 3 : 4件 2 : 3件 1 : 0件 【平均3.6】

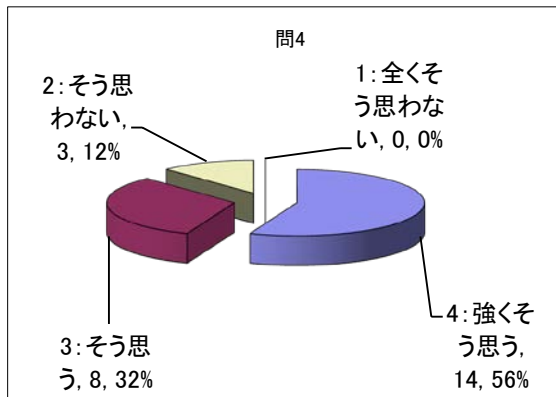


(コメント)

4と3をあわせて22件(88%)であった。ただし、2の回答が3件(12%)あったため、一部の授業については、より学生の知的好奇心を掻き立てるような内容にしていく必要があると考えられる。

問4. 視聴覚・情報機器等を使用する授業において、その使い方は効果的でしたか。

4 : 14件 3 : 8件 2 : 3件 1 : 0件 【平均3.44】

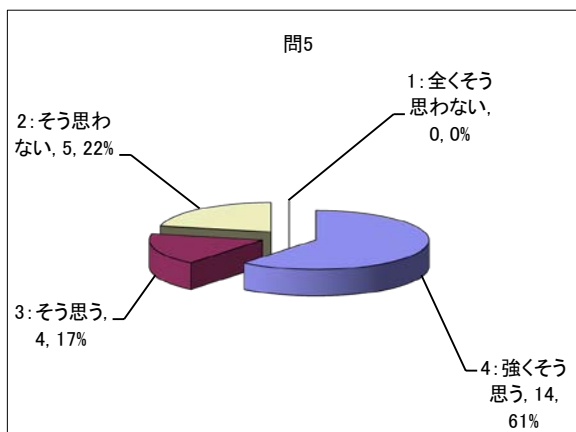


(コメント)

4と3をあわせて22件(88%)であり、比較的効果的だったと考えられる。ただし、2の回答が3件(12%)あったため、視聴覚機器を使用する場合はより効果的に用いる必要があると考えられる。

問5. テキストやプリントなどの教材は授業内容を理解するのに役立ちましたか。

4 : 14件 3 : 4件 2 : 5件 1 : 0件 【平均3.39】

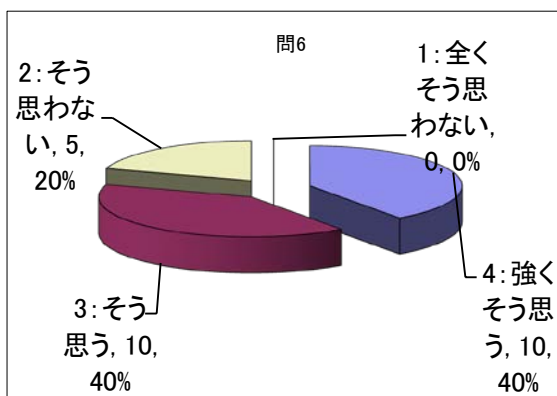


(コメント)

4と3をあわせて18件(78%)であり、比較的効果的だったと考えられる。ただし、2の回答が5件(22%)あり、一部の授業については教材の構成を見直す必要があると思われる。

問6. ノートやメモは取りやすかったですか。

4 : 10件 3 : 10件 2 : 5件 1 : 0件 【平均3.2】

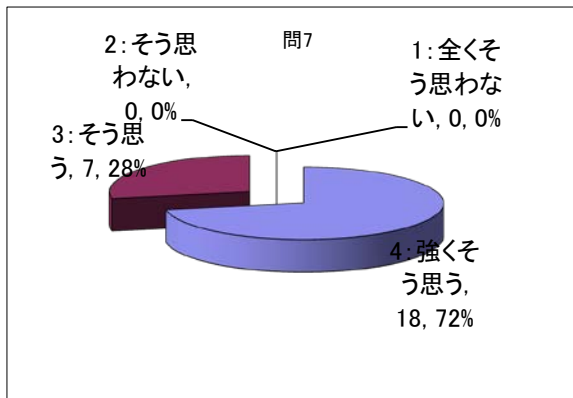


(コメント)

4と3をあわせて20件(80%)であり、多くの授業でノートやメモは取りやすかったと考えられる。ただし、2の回答が5件(20%)あり、一部の授業については、復習等のために記録を残しやすい環境を作る必要がある。

問7. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

4 : 18件 3 : 7件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.72】

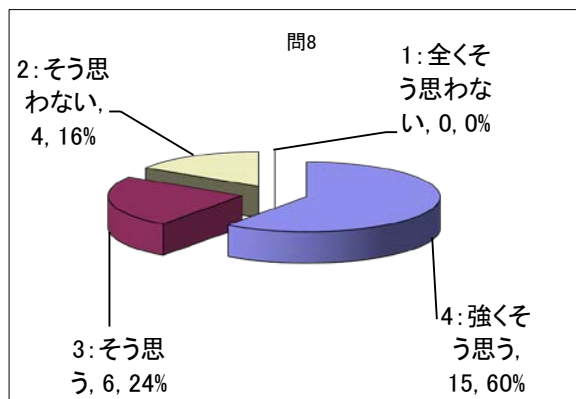


(コメント)

4と3をあわせて25件、100%であり、十分聞き取りやすかったと思われる。

問8. 重要な箇所が強調されるなど、授業の説明はわかりやすかったですか。

4 : 15件 3 : 6件 2 : 4件 1 : 0件 【平均3.44】

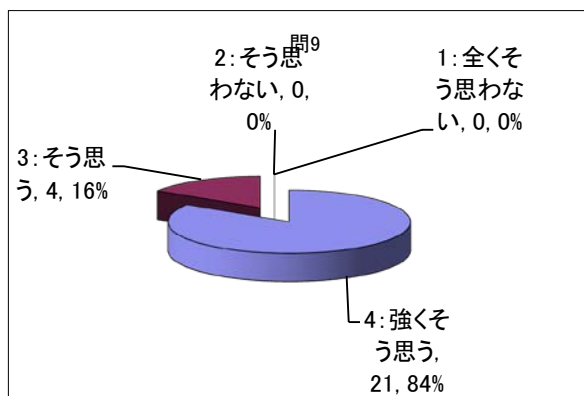


(コメント)

4と3をあわせて21件(84%)であり、説明はわかりやすかったと考えられる。ただし、2の回答が4件(16%)あり、一部の授業についてはよりわかりやすい説明を行っていく必要があると思われる。

問9. 教員は学生に授業参加(発言、質問)を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

4 : 21件 3 : 4件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.84】

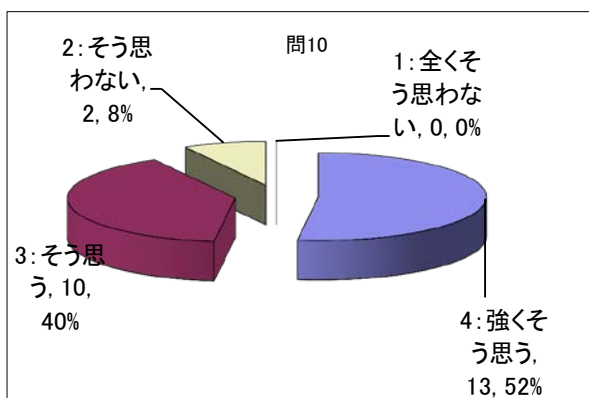


(コメント)

4と3をあわせて25件、100%であり、十分に対応していたと考えられる。

問10. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 13件 3 : 10件 2 : 2件 1 : 0件 【平均3.44】

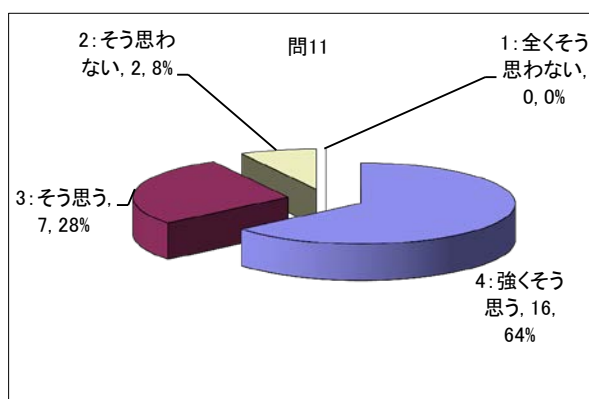


(コメント)

4と3をあわせて23件、92%であり、進度は、ほぼ適切だったと考えられる。ただし、2の回答が2件（8%）あり、学生に応じて進度を変更する必要があると考えられる。

問11. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 16件 3 : 7件 2 : 2件 1 : 0件 【平均3.56】

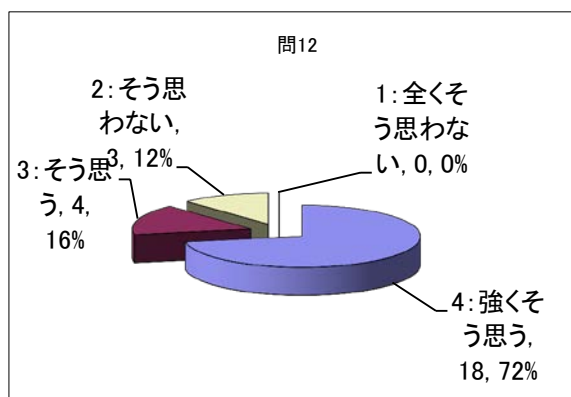


(コメント)

4と3をあわせて23件（92%）であり、学生は十分に教員の熱意を感じていると考えられる。ただし、2の回答が2件（8%）あり、一部の授業については、学生が教員の熱意を感じられるような講義を行う必要があると思われる。

問12. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 18件 3 : 4件 2 : 3件 1 : 0件 【平均3.6】



(コメント)

4と3をあわせて22件、88%であり、多くが授業に満足していると思われる。ただし、2の回答が3件（12%）あったため、一部の授業については学生を満足させることができなかったことがわかる。

問13. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 16件

- ・先生が毎回の授業の始めに、生徒の近況などを聞く時間があり、そのおかげで授業の雰囲気良かったと思う。
- ・講義内容は非常に丁寧で分かりやすかった。重要な式の導きについては、講義資料を配布して頂きたかった。
- ・座学だけでなく、実験を行い、レポートにまとめるという時間が多くあり、理解が深まった。また、今後の研究生活に役立つ内容だったと思う。
- ・毎回、授業資料を配布して頂いたので、復習の際に非常に役立った。授業の進度が若干早い感じがした。自分の研究にも関連する授業なので、通年の授業にしてもっと深く学びたかった。
- ・熱意的に授業をしていただき、大変勉強になった。
- ・実際に野外実習という形で野外の生物の姿を観察する機会などがあり、理解が深まった。
- ・図を用いた説明などが多かったので、講義資料を配布して頂きたかった。
- ・毎回、講義資料を配布して頂いたので、復習の際に非常に役立った。スライドの内容や説明も非常に分かりやすく、講義内容を良く理解することができた。
- ・指導教員の授業でもあり、研究内容と直結した私に適した授業内容を選択して頂いた。
- ・教員によっては、大変分かりやすく説明して頂いた授業だったが、時々、何を伝えたいのかわからない授業があった。
- ・極域探検の話などが重複していたので、セメスターを通して授業構成を考えてほしい。また、書籍又はネット上にあるような話が多かったが、そのような話を授業でする必要はないと思う。過去のJAREの話などを元隊員の方から直接聞いたかった。
- ・1対1の授業形式で大変集中できた。実際に顕微鏡を用いるなど工夫があり、大変楽しめた授業だった。
- ・非常に丁寧に説明して頂いたので、内容を良く理解することができた。
- ・授業中に常に先生の側から生徒に質問がされ、答えられなければ、丁寧な説明があった。このため、理解が深まったと思う。また、実際に機器を使い、重力などを観測する機会があり、座学だけでは得られない理解があったと思う。
- ・講義毎に（復習のための）資料を配布してほしかった。幅広く他分野のことを学習させるために、毎回異なる講義テーマであったことは非常に良いと思うが、講義内容が毎回（専門外の受講者に合わせた）概要レベルで留まってしまうと、講義を通して最終的に何を学べたのか分からなくなってしまう。分野ごとにある程度まとまった（ストーリーのある）内容にして、それを何回かに分けてやる方がより良く学習できたと思う。
- ・各教員の研究内容を聞け、極地研が何を研究しているのか？が理解できた。これを機に、他研究グループの先生方と交流を持てることが出来、また、自分の研究内容を別分野の方に伝えることの経験になった。

4. 平成24年度前期授業評価アンケートのまとめ

(1) 授業内容について（問1～問3）

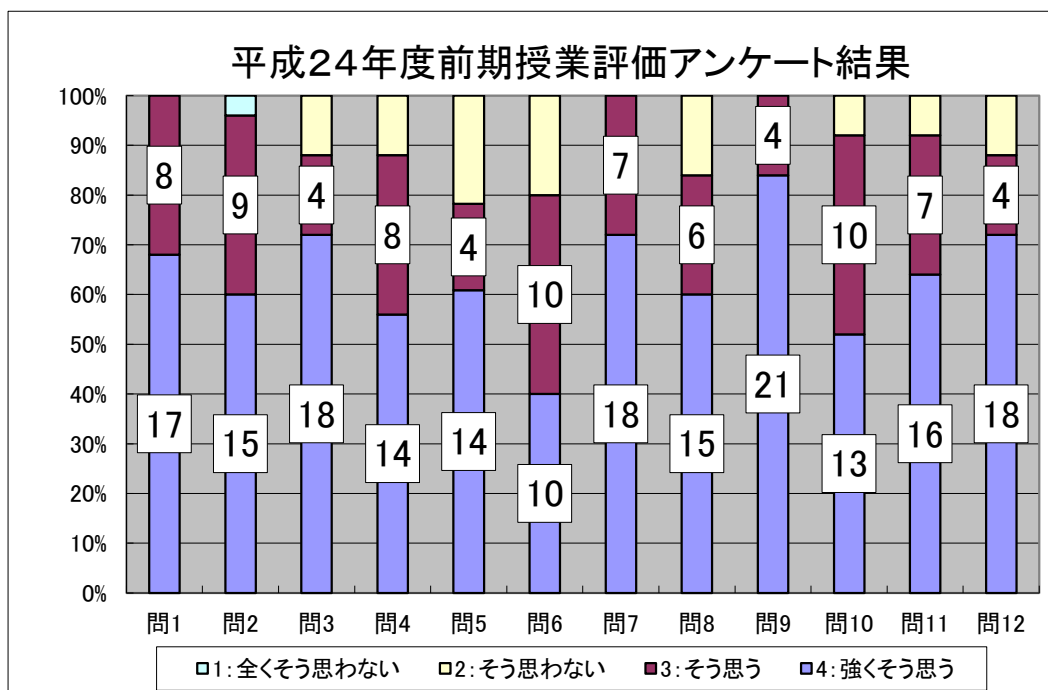
問2の難易度については1の回答が1件あったため、授業のレベルと学生の学力が一致していないものがあったようである。その他の項目については4及び3の肯定的な評価が多く、比較的良い結果だと考えられる。

(2) 授業方法について（問4～問11）

多くの項目で良好な結果が大部分を占めていたものの、一部の授業に関しては、授業のわかりやすさやノートのとりにやすさに課題があることが分かった。教員の熱意が感じられないとの回答が2件あったことから、一部の授業ではより積極的に講義を行っていく必要があると思われる。

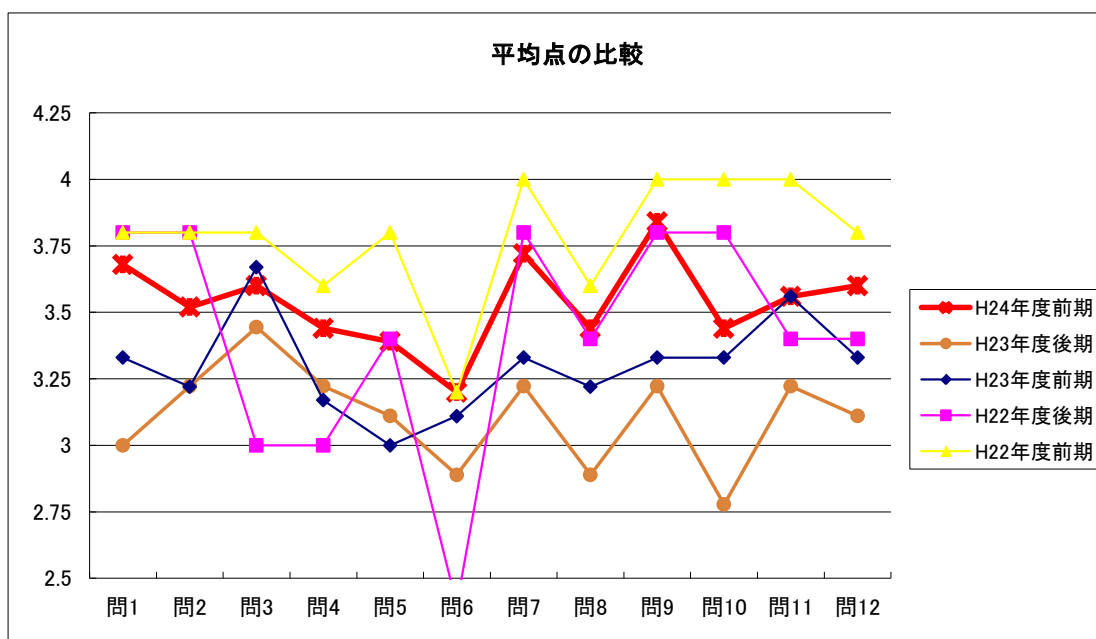
(3) 総合評価（問12～問13）

多くの授業で学生が満足できる授業を提供できたと考えられる一方、一部の授業は学生が満足できる内容ではなかったことがわかった。



(4) 過去の授業評価との比較及びまとめ

過去と比べ平均点は高いものの、内訳をみると最も肯定的な意見（4. 強く思う）と否定的な意見（2. そう思わない）それぞれの割合が増大しており、授業ごとに学生の評価が二極化する傾向にあると考えられる。



5. 今後の対応

平成24年度後期においても同様のアンケートを行い、年度ごとの比較を行っていく予定。
 今回の調査結果については、専攻委員会及び学生へ回付し、極域科学専攻HPに掲載する。